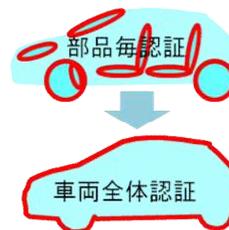


国際的な車両認証制度(IWVTA※)の実現

(※IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

1. IWVTAの概要と期待される効果

○1958年協定に基づく自動車に係る認証の相互承認を「装置単位」から、「車両単位」へ発展する制度。



○基準調和及び認証の相互承認により、設計仕様の統一や部品の共通化を通じて、開発・認証・生産コストが低減。

IWVTAのメリット



ユーザー

■ 適正な価格でのより安全で環境にやさしい自動車の利用

自動車メーカー等事業者

- 部品共通化によるコストの削減
- 各国毎の基準に合わせた開発時間の削減
- 各国毎の認証手続きに係わる費用や時間の削減
- さらなる安全・環境技術の開発に注力

行政機関

- 基準調和により、高度な安全・環境基準が国際的に普及
- 審査作業の効率化
- 新興国等における車両型式認証制度の整備促進

2. 経緯と今後の展望

- 2007年11月 国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)においてIWVTA創設を提案。
- 2009年11月 IWVTA創設の提案を満場一致で可決。
- 2014年 3月～11月 IWVTAの対象となる基準など具体的枠組みを集中的に議論。
- 2015年 3月 IWVTA実施に必要な手続き等を定めた規則案を大筋合意。



2016年のIWVTA創設に向けた最終調整段階。